

# 政策シート (政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

### ◇政策の概要

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	806	1,278
決算	763	
人件費(A)	5,250	6,400
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,013	7,678

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
グリーンツーリズム交流人口	人	3,180,000	目標	2,910,000	2,990,000
			実績	H28.8確定予定	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り  
都市と農山漁村との交流促進事業を計画的に実施し、来訪者に農林水産業の理解が図られた。農山漁村を訪れる者と受け入れ側との交流が重要であり、継続により農林水産業への理解促進が図られる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	次代につなぐ農業推進事業	○				7,678	1,278	0.4	1.0			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,678	1,278	0.4	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 次代につなぐ農業推進事業

## ◇事業目的・事業対象

都市と農山漁村との交流に関する事業や、県内外への地域のPRキャンペーン、地産地消の推進を行うことにより、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進、地場産農産物の消費拡大を図る。

## ◇事業の概要

### 1 グリーンツーリズム推進事業

- (1) 静岡県グリーンツーリズム協会に対する負担金
- (2) 浜松市グリーンツーリズム交流会に対する負担金  
農村都市交流を図る事業の実施、情報発信等

### 2 地産地消推進事業

- (1) 地産地消を推進するための情報発信  
浜松ふるさと季節のたよりを活用した農林水産物の紹介、市内の直売所の紹介
- (2) 地産地消給食等メニューコンテストの応募の推進
- (3) ふるさと納税での浜松産農林水産物のPR

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	一般会計	自治事務(その他)		○		—

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	806	1,278
	決算	763	
	国・県支出	259	
	市債		
	その他		
	一般財源	504	1,278
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,250	6,400
人工	正規	0.8	0.4
	再任用(h31)		1.0
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
グリーンツーリズム交流人口(人)				I-1(2)ウ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,910,000	2,940,000		3,030,000	
実績値	H28.8確定予定				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

1 グリーンツーリズム推進事業

- (1) 静岡県グリーンツーリズム協会に対する負担金
- (2) 浜松市グリーンツーリズム交流会に対する負担金  
農村都市交流を図る事業の実施、情報発信等

2 地産地消推進事業

- (1) 地産地消を推進するための情報発信  
浜松ふるさと季節のたよりを活用した農林水産物の紹介、市内の直売所の紹介
- (2) 地産地消給食等メニューコンテストの応募の推進
- (3) ふるさと納税での浜松産農林水産物のPR

・事業の成果と課題

指標の達成度

グリーン・ツーリズム推進事業

ふるさと里山たいけん帖38プログラムの作成により、約900人の交流人口数を得る。  
在日外国人を対象に、農林水産業を基軸とする交流体験を試行。定期開催に向けては通訳者の確保が課題。

地産地消推進事業

地産地消給食等メニューコンテストにて、農林水産省食料産業局長賞を受賞。  
ふるさと納税で浜松産農林水産物を73品(49品/H26年度)に拡大し商品のPRに努める。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

受け入れ側は、農山漁村の生活・文化体験等の余暇活動のニーズを把握していないため、説得にむけた調整が必要。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

来訪する交流者との農山漁村の生活・文化体験等の余暇活動を充実させるために官民協働による展開が望ましい。  
今後増加が見込まれる訪日外国人をターゲットとした旅行商品開発プランについて、事業の一部を外部委託する。

・事業の分類

大分類  細分類

**政策シート** (政策名) **産業と市民活動による担い手の確保**  
 (予算費目名) **農業振興費**

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	2,674	1,764
決算	1,380	
人件費(A)	3,800	3,540
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,180	5,304

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市民ふれあい農園数(体験農園を除く)	か所	70	目標	52	54
			実績	52	
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%)	%	86.0	目標	81.5	82.0
			実績	81.8	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

自己所有地を市民農園として活用したいという相談件数は多いが、開設までに至らないケースが多い。市民農園に対する市民のニーズは高いため、それに対応できる市民農園の開設候補地の掘り起こしが課題。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市民に親しまれる農業推進事業	○	○			5,304	1,764	0.3	0.4			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						5,304	1,764	0.3	0.4			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

## ◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

## ◇事業の概要

### ①市民ふれあい農園支援事業

- ・農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。
- ・市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和52年度	-	一般会計	自治事務	市民農園整備促進法 特定農地貸付法	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,674	1,764
	決算	1,380	
	国・県支出		
	市債		
	その他	154	160
	一般財源	1,227	1,604
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,800	3,540
人工	正規	0.4	0.3
	再任用(h31)	0.2	0.4
	再任用(h26)		
	非常勤	0.1	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市民ふれあい農園数(体験農園を除く、単位:か所)				I-1(4)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	52	54		60	70
実績値	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位:%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	81.5	82.0			86.0
実績値	81.8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
01 02 04 02 01715000

(担当課)  
農業振興課

(責任者)  
内山 政寿

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

### ◇平成27年度の事業評価

#### ・平成27年度の事業の概要

##### ①市民ふれあい農園支援事業

- ・農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。
- ・市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

#### ・事業の成果と課題

##### 指標の達成度

計画通り

H27年度において、市民農園を開設希望の相談案件は8件で、そのうち新規に開設されたのが2件となった。広報により市民農園開設者募集のお知らせは効果があるが、市民農園としての条件があった農地の確保が難しいのが現状。

#### ・事業の改善と見直し

##### 実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市民農園の開設者募集や利用者募集を広報はままつに加え、担い手通信や農業委員会だより等を活用するなどして、広く周知できるよう推進活動を強化した。

##### 今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

市民農園の利用率を上げるため、開設者への運営指導・助言を行う。新規市民農園開設については、引き続き広報活動を強化し、市民農園候補地の確保に繋げる。

#### ・事業の分類

大分類

細分類